



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ● 会長 横山 範夫 | ● 会長エレクト 加藤 仁昭 |
| ● 副会長 渡邊 淳之 | ● 副会長 月山 勇 |
| ● 幹事 飯田 泰之 | ● 幹事 天野 公史 |
| ● 会計 朝日 達夫 | ● 会計 田口 健太郎 |
| ● S A A 伊澤 政宏 | ● 副 S A A 小池 将夫 |
| ● 副 S A A 山本 芳弘 | ● クラブ会報 金森 欣一 |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2010-2011年度 第14号週報 No. 1668 2010年(平成22年) 10月15日 第1668回例会記録 10月22日発行

司 会 天野 公史 副幹事

特別行事 ガバナー公式訪問

点 鐘 横山 範夫 会長

誕生日祝

川野 正久 第2590地区 ガバナー (10月19日)

斉 唱 「それでこそロータリー」



四つのテスト 江森 国一 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

ゲスト紹介

川野 正久 様 (第2590地区 ガバナー)
石川 正人 様 (第2590地区 第4 G ガバナー補佐)

ビジター紹介 横浜MM21RC 山田 晃久 様

本日〈10月22日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「手に手つないで」
- ◆ 献 立 オリーブ牛のフィレステーキ
- ◆ 卓 話 ディスカッション
テーマ「米山奨学事業について」

誕生日祝

月山 勇 会員 (10月15日)



幹事報告

飯田 泰之 幹事

- ・横浜東RAC10月第2例会の案内が来ておりますので回覧致します。
- ・次々週、10月29日の夜間例会当日、横山会長と私は地区大会のRI会長代理歓迎晩餐会に出席しております。よって、夜間例会の進行を渡邊副会長と山田前年度幹事をお願いしておりますので、ご了承願います。

◎例会変更のお知らせ

*横浜都筑ロータリークラブ

平成22年10月27日(水) 移動例会・職場訪問

*横浜西ロータリークラブ

平成22年11月10日(水) 休会(定款第6条第1節による)

結婚記念日祝

澁谷 高弘 会員 (10月15日)

月山 勇 会員 (10月19日)



委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 植田 清司

10月10日(日) 区民まつりが反町公園で開催されました。

当日の朝、雨が激しく降っていて開催が危ぶまれましたが、予定どおり行われました。

会員、および家族45名が「スリランカに井戸を贈ろう」を合い言葉にして募金活動に参加されました。

また、京都より募金の応援に駆けつけてくれた伊ヶ崎陽子先生を始め、同志社女子大「かたつむりの会」と京都光華女子大「ひまわりの会」の皆さん18名が手作りの紙芝居を実演し、集まった子供たちを喜ばしました。

スリランカからは、ポロノウワ議員・ワンワールド・ワンピープル協会の鈴木一男様、外9名が紅茶の販売の応援をされ、同協会の家族の子どもさんがスリランカの民族舞踊を披露し、大変盛り上がった当クラブのブースになりました。また、ボーイスカウト4名の方の応援協力も頂きました。

終了後、近くの萬珍菜館での打ち上げの懇親会には、会員、家族、および応援協力の皆さん、合計60名が参加され大変盛会でした。

当日の募金合計は、421,887円になりました。

雨の中、設営にご協力頂きました親睦活動委員の皆さんを始め、会員の皆様、大変ありがとうございました。また、チャリティー募金の為に、商品をご提供下さいました会員の皆様、本当にありがとうございました。

会長報告

横山 範夫 会長

- ・この度、山本登会員がR財団の大口寄付者になられました。RI事務局より認証のクリスタルとダイヤモンドサークルピンが届いておりますので川野ガバナーより贈呈して頂きます。



スマイルボックス

伊澤 政宏 SAA

第2590地区 ガバナー 川野正久様 (川崎北RC)

神奈川東ロータリークラブの皆様、こんにちは。本日はお世話になります。本年度の貴クラブのご活躍とご発展、また、貴クラブ会員の皆様のご健勝を祈念致します。

「地球を育み、大陸をつなぐ」

第2590地区 第4G ガバナー補佐 石川正人様 (横浜港北RC)

本日は川野ガバナーの隋行で参りました。よろしくお願います。

横浜MM21RC 山田晃久様

本日、お世話になります。

月山 勇君 ①川野先輩、ようこそ。卓話、よろしくお願ひします。公式訪問もホームクラブを含め、後9クラブ。ラグビーで鍛えた身体、そして日大精神「情熱と真心」で頑張ってください。②誕生、結婚記念日祝、ありがとうございます。昔は関内で授賞式(?)を盛大に祝ってもらったものですが・・・(自腹で)③昨日の第2テーブルミーティングでは、竹山、河野両マスターには大変お世話になりました。もっとも、友添特別マスターには大変お世話になったことを付け加えておきます。

澁谷高弘君 ①結婚祝い、ありがとうございます。②川野ガバナー、石川ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひします。

横山範夫君 ①第2590地区 ガバナー 川野正久様、第4G ガバナー補佐 石川正人様、公式訪問ご苦勞様です。②昨日のテーマ「増強について」のテーブルミーティング、マスター竹山さん、副マスター河野さん、ご苦勞様でした。③10月10日の区民まつり参加の皆様、そして商品提供して頂いた皆様、大変ありがとうございます。

山木幹夫君 川野正久ガバナー、ようこそいらっしやいました。

田邊正彦君 第2テーブルミーティングに参加して、一夜楽しく過ごさせて頂きました。竹山マスター、河野副マスター、ご苦勞様でした。

石川正三君 京都の女子大生たちは、クラブ挙げての大歓迎に感激していました。「大人との接し方を学んだ」との声も・・・。横山会長を始め、多くの方々のご配慮とお心遣いに深く感謝致します。ありがとうございました。

青柳 紀君 川野ガバナー、ようこそ我がクラブにお越し下さいました。本音の卓話、楽しみに聞かせて頂きます。

吉田隆男君 川野ガバナー、本日はよろしくお願ひ致します。

岩澤利雄君 川野ガバナーの公式訪問を歓迎して。

山本 登君 クライマックス頑張っちゃおうかな。無理かな～。

河野明光君 ①川野ガバナー、本日は神奈川東RCへようこそ。②昨日の第2テーブルミーティングには多くの会員に参加して頂き、有意義なミーティングが出来ました。竹山マスターのご配慮に感謝。

飯田泰之君 川野ガバナー、石川ガバナー補佐、ようこそいらっしやいました。本日はご指導の程、よろしくお願ひします。

伊東英紀君 川野ガバナー、本日はよろしくお願ひします。

山田正憲君 ①植田委員長を始め、反町公園の地域まつりにご参加の皆様、お疲れ様でした。②川野ガバナー、本日はよろしくお願ひします。

植田清司君 ①川野ガバナー、石川ガバナー補佐、ようこそいらっしやいました。よろしくご指導下さい。②先日の区民まつり、ご協力頂いた会員の皆様、ありがとうございました。

長井 章君 昨日のテーブルミーティング参加の皆様、お世話になりました。

天野公史君 ①川野ガバナー、本日はありがとうございます。②昨日のテーブルミーティング、ありがとうございました。

脇田いすゞさん 昨日のテーブルミーティング、マスター、副マスター、ありがとうございました。少し早く帰りました。すみません。

茂木知子さん ～南瓜の思い出～某会員が“今年は南瓜が豊作なのであげます。”と言って下さり、手帳を取り出し、多分、私の名前を書いて下さったと思います。しかし、未だに南瓜にお目にかかっていません。たぶん、悪い虫が付いたのだと思います。《追伸》手

帳に私の名前を見つけても忘れて下さい。

森永 健君 良い気候になりましたね。

竹山 洋君 昨日、第2テーブルミーティング出席の皆様、ありがとうございました。

友添辰哉君 ①昨日の第2テーブルミーティング参加の皆様、竹山マスター、お疲れ様でした。②山本登さん、お世話になりました。

小池将夫君 ①川野ガバナー、ようこそおいで下さいました。卓話、楽しみにしております。②先日の“神奈川県民まつり～スリランカチャリティー募金～”に参加の皆様、大変お疲れ様です。素晴らしい募金活動でしたね。

山本芳弘君 ①川野ガバナー、本日はよろしくお願ひ致します。②昨夜の第2テーブルミーティング参加の皆様、お疲れ様でした。

伊澤政宏君 川野ガバナー、本日よろしくお願ひ致します。②昨日のテーブルミーティング参加の皆様、ご苦勞様でした。

10月15日	28件	82,000円
本年度累計		710,000円

出席報告

森永 健 委員長

会員総数	56名	(42+14)名	
出席会員数	47名	(37+10)名	
出席率	90.39%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	86.79%	前回補正後	96.23%

卓話

「ガバナー公式訪問」

第2590地区 2010-11年度 ガバナー 川野 正久 様



ロータリーへの問題点としまして、次の3項目について言われております。世界の大多数の地区の退会者から得た結果です。

①退会者の70%はクラブに指導性がない。このことが70%を占めている。

②クラブに魅力がない。

③奉仕に関わるプロジェクトがない。

いずれもクラブに対する失望である。

「地域を育み、大陸をつなぐ」その基盤は会員の維持・増強である。

まず、指導性について次のことが必要です。

①クラブに方針や目標を示すこと。

②強い意欲をもって率先垂範すること。

③会員の提案を温かく評価し、コミュニケーションをとること。

④可能性を諮ること。

⑤人の心を読み、成果を褒めること。

⑥経験や体験を大切に、人材の育成を図ること。

次に、魅力あるロータリーについて、

①思いやりある友人の集まりであります。

②ロータリーの綱領と四つのテストを大切に、そして職業の倫理性を大切にしよう。

③異業種交流を尊重しよう。職業分類の未充填を充填する増強をお願い致します。

④どんなプログラムも原点に戻り、見直しとスクラップアンドビルドが必要です。

ロータリーの原点は二つあります。親睦と奉仕の2本の柱が重要です。それには例会の出席が必要です。

ロータリアンの活動を高めるには、

①他のロータリアンとの親睦活動の推進。

②地元や世界の地域社会への奉仕活動。

③他の専門職業人とのネットワークづくり。

④努力に対する仲間や地域社会の評価が必要。

と思います。そして重要なのは、これらに関った仲間の功績を称えることを忘れないで下さい。ロータリーの綱領、四つのテストを始め、多くの素晴らしいロータリーのルールは104年間脈々と作り上げられたものなのです。意欲を尊重して頂きたい。

さて、今年の1月18日から24日まで、アメリカ、カリフォルニア州サンディエゴで行なわれました国際協議会に出席して参りました。

会議場には、世界各国から、531地区のガバナーと配偶者が参加し、日本からは34地区のガバナーと配偶者が参加しました。この中で女性のガバナーエレクトは78名いらっしゃいました。日本での女性ガバナーは1人でした。ちなみに、女性のガバナーは亀ヶ谷PGの時に継いで日本で二人目です。

本会議場の入り口に「入って学ぶ」 Enter To Learn、出口には「出でて奉仕せよ」 Go Forth To Serveの大きな看板がありました。ここに「入って学ぶ」とは、ロータリーにあっては教師も生徒もおりません。全員が生徒なのです。つまりロータリーの例会は「自己研鑽の場」であるわけです。

また、「出でて奉仕せよ」とは、例会場を出たら学んだことを奉仕、実践せよ、という意味です。

次にレイ・クリンギンスミスR I会長のロータリー歴をご紹介します。

元ロータリー財団奨学生であり、1961年ユニオンビルRC（ミズリー州）に入会しました。入会14年目で第605地区ガバナーを務め、R I理事、R財団管理委員、39年目で国際ロータリー会長になりました。

略歴をご紹介します。

米国ミズリー州カークスビルの弁護士であり、カークスビルトルーマン州立大学に22年間勤務されております。

私が着ているブレザーは赤紫ですが、毎年色が変わっています。テーマ・ブレザーの導入は、25年前に始まりました。毎年ブレザーの色が違うのは、国際大会等で同期のガバナーを見つけ易いからだと思います。

続いて、国際協議会のメインであります2010-11年度のR Iテーマの発表に移りました。

R I会長は、テーマを決めるにあたり、ロータリーとは何か、ロータリークラブは何をする団体なのか。

1) 「ロータリアン以外の人にロータリーの目的を説明すること」「ロータリアンに自分たちの活動の意義を再認識してもらうこと」の2つを満たすテーマを探しました。

2) 次に、言葉として何が適切かロータリー活動の四大奉仕を考えると、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕は、例会を通じて自己を高め、職業を通じて善き市民となり、地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする。すなわち「地域を育み」を意味します。

一方、国際奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解・親善・平和を広め、世界をより良くすること。この国や大陸に橋をかけること。すなわち「大陸をつなぐ」を意味します。

このように、現在のロータリーの現在の使命を表し、私たちの業績を強調する為に、私たちの得意とすること、すなわち「地域を育み大陸をつなぐ Building Communities Bridging Continents」が最適のテーマである、と発表しました。

続いて、R Iの最優先事項として、(1)ポリオ撲滅 (2)青少年にかかわる活動を発表し、強調事項として、6分野を掲げました。私はこれを「人道的支援に関する活動」としました。

ここでポリオについて少しお話をさせていただきます。

ポリオ(POLIO小児麻痺)という身体の自由を奪う病の感染者の減少にロータリーは大きく貢献してきました。ロータリーは、1985年にポリオプラスプログラムを発足して以来、20億以上の子供に経口ポリオワクチンの投与を続け、現在までに世界210の国や地域からポリオが無くなり、現在、ポリオ感染国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4カ国といわれています。この4カ国は、文化的・宗教的問題、地理的孤立、インフラ整備、武装紛争中で予防が非常に困難な状況で、今までより多額な費用を必要とすることをご理解下さい。

また、最近の感染は、1979年の50万人と比べると世界的に99%減少しています。これはタイプⅠ・Ⅱを開発した薬が効いているからです。

ナイジェリアが激減し、インドもポリオ撲滅に懸命であります。

近年平均の4倍もの子供を集めてワクチンを投与しているそうです。近い将来、ロータリーはポリオ撲滅の約束を果たすこととなるでしょう。

次に青少年にかかわる活動について述べます。

RI会長は、元ロータリー財団奨学生です。故郷ミズリー州のユニオンビルロータリークラブからの奨学生として、1年間、南アフリカへ留学しました。生まれ故郷で初めての国際親善奨学生でした。50年も前の話です。帰国後2週間後、彼はRCに入会しました。父もロータリアンでした。

- ・今まで約5万人近くの奨学生が留学の機会を与えられています。
- ・また、約6万人のGSEチームが、別の国での研修を経験しています。
- ・約10万人以上の青少年交換学生が海外のホストファミリーにお世話になっています。

このように次世代を担う青少年にかかわる活動は、国際理解・親善・平和に大変重要な役割を担っています。

国際親善奨学生だった経験から、会長は特に青少年の活動に意欲を持っています。

次に、強調事項として

- ①平和と紛争予防／紛争解決
- ②疾病予防と治療
- ③水と衛生設備
- ④母子の健康
- ⑤基本的教育と識字率向上
- ⑥経済と地域社会の発展

です。これらの事項は未来の夢計画の6分野と同じです。これらはロータリー財団の使命と同じです。

- ・各クラブの実情に沿った活動をお願い致します。

次に、2010年－11年度 地区方針を述べさせていただきます。

1. 「ロータリーの綱領」を推進し、ロータリーを楽しみましょう。

ロータリーの綱領すなわち目的は「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成すること」にあります。ロータリーの目的を理解し、推進する機会を多く持ちましょう。

また、ロータリーを楽しんで頂きたいと思います。楽しむことのルール、基本的知識の理解が大切です。まさに楽しむための「自己研鑽」が必要と考えます。

2. RIの最優先事項「ポリオ撲滅」、「青少年にかかわる活動」、及びRIの強調事項として「人道的支援に関する活動」（6分野）を推進しましょう。

日本においては、ポリオについての関心が少ないので、少々お話をさせていただきます。先ほど1985年頃からポリオプラスプログラムが発足したと述べましたが、わが国では、1982年に東京の麹町RCの山田彝(ツネ)会員が3H活動のため南インドに行か

れた際、ポリオに苦しむ子供達の惨状に深い関心をもち、この調査報告が麹町RCのポリオ撲滅運動提唱の原動力の一つになっております。RIにも何度もメッセージを送り、1986年に1億2千万ドルのキャンペーンを実施することになったのです。また、志を同じくする医師である峰英二会員と再三南インドを訪れましたが、お二人とも原因不明の病原菌に侵され亡くなりましたことをご報告いたします。

1982年、東京麹町RCの山田彝(つね)、峰英二氏の活動が、ポリオ撲滅運動の原動力になっています。

また、今年の2月に神戸市の子供がポリオを発症したとの発表がありました。ポリオは決して他人事ではないのです。

「青少年に関する活動」として、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLA、国際親善奨学生、米山記念奨学生、ロータリー平和フェロー等、活発なプログラムがあります。

従来のプログラムの踏襲だけでなく新たなプログラムの展開をお願い致します。

強調事項につきましては、6分野を「人道的支援に関する活動」としました。

私たちは、出来る範囲で困っている人に援助の手を差し伸べる勇気と行動が必要なのではないでしょうか？

3. 各クラブの自主性を尊び、クラブ奉仕の充実を図り、職業奉仕の重要性を理解しましょう。

- ・ここに「クラブの自主性を尊び」とは、クラブ主導を意味します。
- ・クラブ奉仕は、各クラブが楽しく充実した例会運営を目指して下さい。出席率の向上にも繋がるものと考えます。クラブの魅力は自己研鑽から。
- ・例会はロータリーの中核といえます。例会での卓話は会員による卓話を重視して下さい。より会員相互の理解・親睦が深まると考えております。例会はロータリーの原点です。ロータリーは人と人との組織、どんな大きなクラブでも土地も建物もない、信頼と寛容と善意に満ちた友情、友情に結ばれた仲間が集まる例会、これがロータリーの原点です。例会がなかったらクラブは成立いたしません。
- ・職業奉仕における「四つのテスト」を尊び、倫理規範の高揚を図ってください。例会等で職業奉仕を学ぶ時間を設けて下さい。

4. 各クラブ5パーセント以上の会員純増をお願いします。

今年度、5%の純増をお願い致します。会員増強は、クラブの活性化、財政的にもクラブの運営が円滑になると考えます。

3～5年を目標に2950を目指したい。

入会に関しては、ロータリアンとしてふさわしいかどうか、クラブに馴染んで頂けるか、ロータリーをよく理解して入会して頂く必要があります。すなわち情報教育が重要です。

また、クラブの会員はロータリアンとしての自覚とプライドをもち、自分たちのクラブを魅力あるものとするのが会員にとっても新会員を迎えるにあたって、肝心であると考えます。

5. ローターリー財団への寄付は、会員1名あたり年次寄付120ドル、および各クラブでベネファクター2名。

6. 米山記念奨学会への寄付は、会員1名あたり普通寄付5,000円、特別寄付20,000円、計25,000円以上を目標。

16年間の実績をおごることなく、米山記念奨学会の意義と目的を地道に説明してご理解ご協力をお願いします。第2590地区は1人平均寄付額30,227円で、当地区が全国1位になりました。貴クラブは昨年、第8グループでトップの業績に感謝申し上げます。今年度もご協力をお願い致します。

7. 広報の重要性の認識、情報の活性化によるロータリー活動の円滑化を高めましょう。

「地域を育み 大陸をつなぐ」のテーマにある通り、ロータリアン以外一般の方にロータリーの活動を知って頂き、ロータリアンに我々の使命を再確認するように、効果的な方法・手段の検討を致します。

今年度は、シールをご利用頂けるよう作成中です。

8. RIのテーマ「地域を育み 大陸をつなぐ」に沿った五大奉仕プロジェクトを実施して下さい。また、とくに国際理解・親善・平和を育みつなぐロータリー財団、米山記念奨学会の趣旨をご理解頂き、より推進しましょう。

2010年規定審議会は新世代奉仕を加え五大奉仕と致しました。

クラブの実情に沿った活動をお願い致します。

五大奉仕プロジェクトは、「効果的な目標」を設定するよう奨励して下さい。

全員の決定であること、測定可能であること、意欲を惹起する取組みがあること、達成可能であること、時間が定められていることを考慮して

「地域を育み、大陸をつなぐ」を実施して下さい。

9. “One for All All for One”

ひとり全員のために 全員はひとりのために

一人ひとりがクラブの為に協力し、クラブは一人ひとりを大切に思いやりをもちましょう。自分一人がいなくてもいいのだ、というのではなく、自分がいなくてはならないのだ、という意識を持って頂きたい。

会員一人がクラブの大切な24の歯車であり、噛み合った人と人との友情こそクラブの活性化・奉仕の情熱の高揚に不可欠であると確信しております。

会員各位の結束した意識と行動で、充実した目標をたて、楽しい実り多い年度を目指して下さい。

神奈川東RCはひとつのチームです。今年度、皆様のチームワークの良さが、そして力強いフォローアップが横山会長の素晴らしいリーダーシップを生み、発揮出来るものと祈願しております。

同志社女子大学 伊ヶ崎様よりお礼状が届きました

先日、神奈川県民まつりに参加頂いた同志社女子大学 嘱託講師伊ヶ崎陽子様より、お礼状とその後の学生たちの報告が届きましたので紹介致します。

神奈川東ロータリークラブ様

前略

先日、多くの学生たちが大変お世話になりました。学生の様子を報告致します。

月曜日（京都光華女子大学）

部室へ放課後行くと、今までほとんど話さなかった学生が笑顔で楽しそうに次の作品にとりかかり、周りのクラブ員と話をしていました。

他の学生たちは「行ってよかった」と一同に言ってくれました。

火曜日（同志社女子大学・今出川校）

横浜へ行った学生たち全員が出席し、一同楽しそうに、行っていなかった学生たちに写真を見せながら「日本でも紙芝居を喜んでくれる子供たちがたくさんいるので、やって良かった」「“おもしろかった”と子供が言ってくれたので、やって良かった」等、色々報告していました。「次回、また行きたい」とか「行かせて下さい」と行かなかった学生たちも私に声を掛けてくれました。

木曜日（同志社女子大学・京田辺校）

「日本の子供たちにも喜んでくれる作品を新しく作ってみたい」と、新しい作品作りを話し合っ、創作作品にそれぞれアイデアを出し合っていました。

この様な様子を見ていると、今回、始めて国内で作品を発表することで、学生たちの作品に対する考え方が良い方向へ変わって来ていました。

7年前から大学でこの活動を始めましたが、ロータリー様のこの区民まつりに参加するにあたり、学生には「自分のアルバイトのお金で参加出来る人だけ行って下さい」と伝えました。

ボランティア活動に関して、親御さんには迷惑を掛けない様にすることを言い続けていたのですが、多くの学生たちは本当に真摯な態度で参加してくれているので、私自身も反対に感謝の気持ちで一杯です。

こういう機会を与えて下さったロータリーの皆様には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

皆様のご健勝を心から祈りつつ・・・

草々

2010.10.15 伊ヶ崎陽子

次回《10月29日》の予定

夜間例会